

夢童

菅波 茂

一陣の風と共に雨が降る。

AMD Aがミャンマーで活動を開始してから10年目の雨季である。

ミャンマーの中部乾燥地域は貧困地域でもある。先の世界大戦では乾いた地面がざんごうを掘るには硬すぎ、多くの日本兵が英印軍の戦車群の犠牲になった。メティラも日本兵とかわかりが深い所である。ニャンウーには三大仏教遺跡の一つであるバガン帝国の仏教遺跡群がある。パコクは特に貧しい地域である。

康増進である。プライマリーヘルスケアの3原則は住民参加、知識の普及、そして経済的および社会的要因の変革である。

6月25日。15人の村長さんが3年間の取り組みを発表した。一つの村の人口は平均1000人ほどである。発表内容はAMD Aが来る前と来た後ではどのように変わったか、である。子どもがトイレの後に手を洗うようになった。母親の子育てに関する栄養の知識が増えた。下痢の時に清潔な水に砂糖と塩分を混ぜて飲ませれば脱水症を防げるようになった。

送料金などはコミュニティ健康基金として運営する。急病で払うべきお金が無い時などにこの健康基金から低利で貸付を受ける。

見事にプライマリーヘルスケアの3原則が実現されている事実に驚愕した。村長さんたちが実に良い顔で堂々と発表した。彼らは私に言った。「AMD Aには感謝している。AMD Aが去っても自力でこの成果を維持する」と。

15人の村長

大学生を対象に実施したい。大学生が村を訪れる許可を出してほしいと。小田野大使そしてチョウ・ミン保健大臣ともに快諾していただいた。

私は村長さんたちにアピールした。60年前に日本は銃と共に来た。今は世界一の平均寿命を実現させた実績と見識と共に来た。どちらが良いですか。全員が叫んだ。今がよい。AMD Aは3年間にわたって皆様の税金をこのプロジェクトに使用させてもらった。その成果を日本の将来を担う若者の人材育成にお返しできれば幸いである。(AMD A代表) 題字は筆者